

詩かぶちたう かいな

おてまやん せんた このころ

まゆりり しんげってん

このいり しんごも いたがっ てん

せん人は ぐちやべし じやせん

まをは どうやう きやいやうたいし

この道は いつか来た道

みあ そろひよ 母さうと 車平と

行くなよ

春や来い 早く来い

ふるき口はめた ぶよちやんか

おんもにふたいと 子っこいる

何か言ちろと思つても

女房 には 何だか言えやせい

そにが っい く うそおきろ

にじぶん には ぐうた

うちの女房 音には ひげがある

詩をいくつかかいてみる

情状がわかるように書く

生活の~~日常~~ 常体がわかる

どちら生活でも

かき出すことが出来る

自分の生活と比べてみる

自然心 その詩が書きとれる

自分で語がわかる

どちら原句のどろろ

2025
7/23